

仕事人秘録

社長に就任して4年目の1994年、テレビCMのキャラクターに女優の中村玉緒さんを起用した。首都圏への本格的な拡販が目的だった。

マロニーは関西ではそれなりに知名度がありました。が、関東ではほとんど知られていないと言っても過言ではない状態でした。そこで、CMにはインパクトのあるタレントさんを使おうと決めました。広告代理店のリストに玉緒さんのお名前がありました。

玉緒さんが明石家さんまさんのバラエティー番組に出演したビデオを何本か見てすぐに「絶対この人だ」と思いました。当時、玉緒さんは夫の勝新太郎さんのスキャンダルがあったので

看板商品がトップ育てる ⑧

マロニー社長
河内 幸枝氏



中村玉緒さん(左)とCM撮影現場で(2007年)

テレビCMでインパクト

すが、私は主婦感覚でいえば、世の中の奥さん方は玉緒さんに同情していると思っただけです。

それに玉緒さんは歌舞伎役者の娘として幼い頃から芸を磨いてこられた。それだけのものをお持ちだからこそ、役者だけでなくタレントとしても活躍できるのだと思います。お目にかかったことはありませんでしたが、そんな信頼感があり、

「マロニーちゃん」の返るのだそうです。シーズンは偶然から生まれました。CMは9、1月のお鍋のシーズンに全国で放映して

玉緒さんがセットに向かう途中、踊りながら歌うように「マロニーちゃん」と言ったんです。周囲のスタッフやコピーライターが「えっ」と驚いて「それ、いいですね。もう一度歌ってください」と頼みました。元の原稿は「マロニーさん」だったんです。

玉緒さんは京都出身の方です。関西人は「アメちゃん」「お豆ちゃん」などと「ちゃん」を付けるので、思わず口をついて出たのでしよう。CMはすぐ評判になりました。中でも子どもたちの反応が良く、CMが流れるとほかのことをしていてもパッとテレビを振り

放映開始当時、玉緒さんといえば、若い人の間での知名度はそれほどでもなかったと記憶しています。その後、バラエティータレントとして人気が上昇するのに合わせて、出演するCMも増えていきましたが、いつも「マロニーさんのおかげ」と感謝していただきます。

経営・人事

